



MONTHLY
MAGAZINE

2026 Spring
Special Version
Vol.162.5

[バズゴルフ]

バズゴルフ

XXIOが
ミスに強いのは
当たり前!

ミスに
させないのが
XXIO!

XXIO Ambassador!
菅沼菜々
Nana SUGANUMA

XXIO Ambassador!
青木瀬令奈
Serena AOKI

「絶対ゼットアイ、
ボールを
簡単に飛ばせる」

XXIOが
サイキョー
だから!

XXIOの進化は
アマチュアゴルファーを
進化させる
ためにある



絶対ゼットアイ、
ボールを簡単に飛ばせる
XXIOがサイキョーだから！

COVER PLAYER

青木瀬令奈

菅沼菜々

撮影=高橋淳司

C O N T E N T S

4
XXIOの殻を破った
圧倒的高初速の
XXIO 14ドライバー

6
“精度が命”の
青木瀬令奈が惚れこむ
XXIO 14
フェアウェイウッド

8
日本一曲がらない男が
日本一やさしい
アイアンを打つ！
XXIO 14アイアン

10
ボールにもクラブ同様の
やさしさがあるって
ご存知？
ゼクシオ HYPER RD

スコアに伸び悩む 多くのゴルファーたちは PGAツアープレーヤーたちが 愛用するモデルを 選んでいませんか？

アマチュアゴルファーが手にするべきクラブ、
プロゴルファーが手にするべきクラブ、
ベストパフォーマンスを出せる理想は異なります。
考え方はシンプル、スキルに秀でるプロゴルファーは、
妥協なく自分の理想弾道を追求していけるからです。
ではスコアに伸び悩むアマチュアゴルファーはどうか？
各ショットで不安要素が付きまとっているはずで
スコアメイクの決め手はミスショットの数をいかに減らすか、
そんな基準でクラブ選びをしているならば、
PGAツアーで戦うトッププレーヤーたちのクラブと
同じモデルがベストなはずはありませんよね？

2000年というミレニアムイヤーに登場した「XXIO」、
25年という月日をかけて歩んできた進化の全ては
アマチュアゴルファーのためにあります。
ミスに強い機能は当たり前、ミスをさせない機能の提案が
「XXIO」の進化、「XXIO 14」の存在価値です。



ヘッドスピードが加速しているのを
実感できる「14」ってスゴくないですか!?
——菅沼菜々

絶対ゼツタイ、
ボールを簡単に飛ばせる
XXIOが
サイキョー
だから!

[XXIO 14 DRIVER]



**[XXIO 14
KEY TECHNOLOGY]**

New ActivWing

ダウンスイング前半の遠心力によるヘッドのブレを抑制し、安定したインパクトへと導く空力性能。

「芯で打てる」、
「最速で打てる」が
XXIOの強み

ゴルフクラブの機能として度々登場する慣性モーメント、芯を外した時の強さを表す指標である。その数値が高いほど芯を外したミスヒットに強い。しかし全てのゴルフファーにとって高慣性モーメントがベストとは限らない。振り心地を「重い」と感じさせたり、操作性や「つかまり」の鈍感さが、かえって難しくさせるケースもある。だからこそ、XXIOというドライバーは必要以上に慣性モーメントを高めることよりも、ゴルフファーが「芯に当てやすい」と感じる基本性能を重視しているのだ。その象徴が空力を利用してベストなインパクトに導く「アクティブウィング」だ。

「12」で採用されたアクティブウィングは、なるほどの効果が体感できて、クラブの振りやすさ、芯の当たりやすさを感じました。最新「14」のそれはさらに進化して、ヘッドスピードまで加速させてくれた。XXIOはクラブがナイスショットを引き出してくれるんだなって。ミスに強いのは当然だけど、ミスをさせない、それがXXIOだなって感じます」(青木瀬令奈)



「初速でライバルに
絶対負けない、
超高速ドライバーです」

ナイスショットは最大パフォーマンス、この事実は普遍だ。だからこそXX10はナイスショットを放てる。促す機能にこだわり進化を続けてきた。その一環として大きな課題となったのが初速向上の限界だ。インパクトの大きなたわみが初速性能の原動力となるチタン素材において、さらに初速アップを実現できる強靱な金属素材が、世の中に存在していなかったのである。

ないなら、つくる。ダンロップの技術陣渾身の新素材「VR・チタン」だ。強靱な新素材はさらなる薄肉加工を可能とし、飛びの原動力である「たわみ量」の限界突破を実現させた。

「凄いボール初速を実感して、すぐにスイッチしました」(中村心)
「13」とあまりにも初速性能(打ち応え)が違い、驚きでした」(菅沼菜々)

つかまりやすさ、
安心感、そして初速感に
一目惚れして「14」に
即スイッチしました！
—中村心



XX10はやさしい。多くのゴルフアワーが抱えている価値観だろう。ただ新作「14」はその殻を破り、プロも驚く初速性能の進化を遂げている。私たちはXX10に抱く価値観のアップデートが急務だ。

**XX10 14
KEY TECHNOLOGY**
VR-チタン

日本製鉄(株)とのタッグで生み出した新チタン素材。シリコンを配合してかたつない強靱さを実現させた。中央部で183%の初速性能アップ、高初速エリアを151%も拡大させた。

「14」ドライバーだけが
提案のできる
最大飛距離の価値

ドライバーを語る上でトレンドになっている機能が慣性モーメントだ。しかしXX10は慣性モーメントというワードをあえて使わない。いや、XX10ドライバーを語る上でそれは必要ないのだ。

これまでのXX10を
遥かに上回った超高速感を
「14」で体感していただきたい
—青木瀬令奈



高弾道・キャリーで
強く大きく飛ばす
XX10 14 ドライバー

振り抜いて、叩いて
強く大きく飛ばす
XX10 14+ドライバー



絶対ゼッタイ、
ボールを
簡単に飛ばせる
XXIO
サイキョー
だから!

[XXIO 14 FAIRWAY WOOD]

ヘッドフォルムについては、実際に私を含めツアープレイヤーたちの意見もヒアリングしてくれました。操作性、抜けの良さを視覚からイメージできる「14フェアウェイウッド」の形状に私は一目惚れしました(青木)

青木瀬令奈が 惚れ込んだ 「14」フェアウェイウッド

フェアウェイウッドはバーディを獲得するためのクラブと称し、誰よりもその機能に厳格なのが青木瀬令奈だ。だからこそ安易に新作へと替えられないが、「XXIO 14」の性能には惚れ込み、実戦に備えていると大西翔太コーチが明かす。

フェアウェイウッドの命は「操作性」、そして「当てやすさ」

平均飛距離約220ヤードの青木プロにとって、スコアメイクの生命線は「ショット精度」にあります。とくにドライバーの飛距離を補うフェアウェイウッドの精度は青木プロにとって妥協することができない。フェアウェイウッドを握るセカンドショットこそが、バーディチャンスであると考えているからです。だからこそ慣れ親しんだ性能こそが信頼の源。操作感が一変しかない新作になかなか変更できないのも事実です。

ただ「XXIO 14」は、とても良い感触を得ているようです。青木プロはまずヘッド形状を絶賛しています。感覚を左右する要素の形状、これまでのシリーズからやや小ぶりになり、セットアップで操作感をイメージできるようです。小ぶりだと聞くと難しくなったのか?とアマチュアゴルファーの皆さんはイ

メージされがちですが、操作感というのは自分の思いのままに打てるということであり、決して難しくはありません。むしろ大型ヘッドモデ

FW選びの 絶対条件

ボールを上げる
動作をスイングに
要求しない!

私の感覚ではインパクトでボールがくっつく感じがあって、その操作性に有利な感触を凄く気に入っています。ボールが上がりやすいのもいい。無理に球を上げるという動作をスイングに要求しないのも、私がフェアウェイウッドに求める絶対条件でもあります(青木)



フェアウェイウッド、
そしてハイブリッドにも
「アクティブウイング」が
ナイスショットに導く

ダウンスイング初期においてヘッドに空気抵抗をあえて与えることで、いいスイング軌道に導いてくれる「アクティブウイング」のおかげで、身体の正面からヘッドを外さない。芝上からミート率が要求されるFWやHYでの効果は絶大です(大西)



XXIO 14
フェアウェイ
ウッド



XXIO 14+
フェアウェイ
ウッド

さらに高く、さらに遠くへ
爽快に飛ばすフェアウェイウッド

XXIO 14の3Wは 飛距離性能に大注目!

青木プロと驚いたのは3Wのぶっ飛び機能。ドライバーとほぼ同じくらいのキャリヤーで飛ばせて、女子ツアーで注目ギアになっています(大西)

解説・文/大西翔太

おおにししゅうた、1992年6月20日生まれ、千葉県出身、フリー。ツアープロコーチ&プロキャディとして青木瀬令奈とのタッグでツアーを戦う。



XXIO 14
ハイブリッド



XXIO 14+
ハイブリッド

さらに高く高弾道で狙える
ハイブリッド

青木プロのフェアウェイウッドへのこだわりは世界一です。そんな彼女が称賛している「XXIO 14」、凄いフェアウェイウッドであるというのをご理解いただけるはず(大西コーチ)

青木プロのフェアウェイウッドへのこだわりは世界一です。そんな彼女が称賛している「XXIO 14」、凄いフェアウェイウッドであるというのをご理解いただけるはず(大西コーチ)

絶大だと感じています。

また実際、「XXIO 14」を使用する私も実感しているのですが、スイング中に身体の正面からクラブが外れない感覚があります。その理由の一つはヘッドの重心設計が完璧なこと。ゴルフファーがスイングしやすい重心距離・深度のバランスが秀逸な証拠です。もう一つは、「アクティブウイング」。ドライバー同様、空力抵抗を利用して正しいスイング軌道に導く補助機能の効果は絶大だと感じています。

ルよりも、ヘッドターンがスムーズなぶん、必ず打ちやすいと感じるはず。

絶対 **ゼツタイ**
ボールを
簡単に飛ばせる
XXIOが
サイキョー
だから!
[XXIO 14 IRON]

まったく 曲がらんわ!!!!

日本一曲がらない男を驚愕させた

一貫した
ストレートボールの
「14」アイアン



いいアイアンの定義とは何か——？

そんな疑問を稲森佑貴プロに投げかけてみたら、彼は迷わず「自分が力まなくていいアイアン」と答える。多くのアマチュアゴルファーにとって

稲森プロの回答こそが、

「XXIO 14 アイアン」を選ぶ最適解となる。

「難しさ」を選ぶゴルフはナンセンス、
全てに「やさしさ」を優先するべき！

アイアンというクラブの目的は、番手毎の狙った距離を正確に飛ばすことに尽きる。そして、いいアイアンの条件は番手毎の距離間の精度を高め、飛距離の階段を作れるモデルである。

「たとえば、つかまりにくい、上がりにくい」と感じるクラブは、その時点でスイングに無理な動きを要求しています。プロアマ関係なく、そんなクラブは使うべきではない。ゴルフクラブはショットをサポートしてくれる存在でなければならぬ。私自身『XXIO 14 アイアン』を打って改めてそう感じました」
(稲森佑貴)

日本一曲がらない男が力説する。スリクソンアイアン・ユーザーの彼が「XXIO アイアン」を打つのは人生で初めてだ。

「とにかく初速感がよく、安定したストレートボールが打てる。この一貫性は、やさしさ」として武

話題のVR・チタンの打感って
弾くのにやわらかいんですね！——稲森佑貴



器にできれば心強い。弾道の高さも十分、ナイスショットを打つ

とに自信を持って臨めるから、ゴルフファーは安心してマネジメントに徹することができる。まさにクラブ選びの本質が「XXIO」にはあります」。

アマチュアゴルフファーは無頓着にプロの使用率が高いクラブを選びがち。しかし見本にしているプロだって、自分にとって「やさしい」クラブを妥協なく選んでいる。だからこそ、本当に自分のプレーにとってどんなクラブが有利か、自分でジャッジしたい。クラブ選びの本質を理解したアマチュアゴルフファーにとって、「XXIO 14」はナンバーワンの存在になる。



XXIO 14 アイアン

フェースに新搭載された「VR・チタン」の打ち応えがとにかく爽快。どちらかというとスリーブな軌道で(ゆるやかな入射角)打っているゴルファーに、安定したつかまり・高さ・距離を提供できる。一貫したボールが打てる最強のアイアンです(稲森)



XXIO 14+ アイアン

「14」に比べて、少ししっかり感がある芯のある打感で、打ち込んでいけるアイアン。スリクソン同様の山型ソールで、ダウンブロー軌道のアイアンショットに、良い抜け感をもたらし、いいストレートボールを打たせてくれます(稲森)



ずっとアイアンは、
XXIO一筋！
吉本ここね

アイアンはXXIO一筋の私。とにかくやさしさを重視する私のこだわりです。「14」を打ってみて感じた第一印象は、打感のよらかさ。フェースにボールが少しくっつくような感じが、出球をコントロールできる感覚がありました。え！スリクソンは選ばないのかって？私、プロですがスリクソンは打ったことありません(笑)



やさしいクラブを 選ぶように やさしいボールを 選ぶべき

「XXIO」には「XXIO」を選ぶほう！
そんな「ゼクシオ HYPER RD」ボールの
キャッチフレーズにはアマチュアゴルファーが
実践すべきボール選びの核心がある。

撮影：田中宏幸 取材協力：Futako Golf Club



「XXIO」×「XXIO」、 打感の好マッチング

「ゼクシオ HYPER RD」は打感が超ソフト。
だからこそ弾き系打感の「XXIO 14」との相
性が高い。フィーリングのマッチングは大切
なパフォーマンスの一つだと思います（森山）

試打・解説／森山 錬

もりやま れん、1996年6月3日生
まれ。Futako Golf Club（東京）を
主宰。アマチュアゴルファーに精
通したレッスンが好評。



絶対 **ゼッタイ**、
ボールを
簡単に飛ばせる
XXIOが
サイキョー
だから！

[ゼクシオ HYPER RD]



XXIO vs SRIXON

71

「ゼクシオ HYPER RD」と「スリクソン Zスター◆」、両ボールでのスピンの差は500~800回転など体感できました。私的にはもっとスピンが入らないイメージがあったディスタンスボールですが、その固定概念はもはや通じません。しっかりグリーンをキャッチできるスピン性能が確保されています(森山)

ディスタンス系は止まらない、という固定概念は通じない

※クラブスピード39m/s



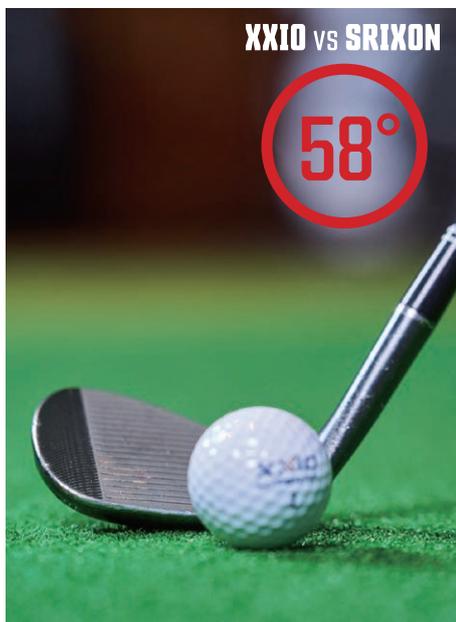
XXIO vs SRIXON

1W

とくにスライサーは曲がり幅が抑えられて飛距離が伸びる

フェードボールを打った時に、スピン量の差が明らか。つまりスライサーにとって「ゼクシオ HYPER RD」が飛ばせるボールである、というのは確実です。ボールを替えるだけで余計なスピンの抑制ができるから、曲がり幅も減る。OBの数も減らせるのは明らかです(森山)

※クラブスピード46m/s



XXIO vs SRIXON

58°

スピン量が安定、上級者にとっても強みでしかない!

最も驚いたのはウェッジでのスピン量、想像以上にスピンが入ったショットが打てることです。スピン量に優れるツアーボールはシビアでナイスとミスの結果差が顕著。「ゼクシオ HYPER RD」はスピン量が安定していて距離感が狂いにくい。上級者にとっても嬉しい「やさしさ」があると感じます(森山)

※クラブスピード29m/s



ディスタンスボール「ゼクシオ HYPER RD」のトレードマークは、その名の通り、ハイパーな飛び。なぜ飛距離に有利なのか、そのメカニズムを知らなければこのボールがいかにかスコアメイクにも貢献してくれるかを理解できる。

「ゼクシオ HYPER RD」とツアーボール(スピン系)の「スリクソン Zスター◆(ダイヤモンド)」を比較すれば性能がわかりやすい。両者の差はスピン量にある。スピンの抑えられる「ゼクシオ HYPER RD」は、とくにスライサーに有利。余計なスピン量をボールで抑制し、直進性の強弾道になるのがディスタンスボールたる性能だ。対して「スリクソン Zスター◆」はスピンの多く弾道のコントロール性に秀でているため、プロや上級者向けだといえる。

「ツアーボールはスピンのかかり方がシビアで操作性が高い分、ミスがミスになりやすい。『ゼクシオ HYPER RD』はスピン量の大小の差がほぼなく、距離感が作りやすい。上級者にとってのメリットも大きい。」

ディスタンスボールは単純に飛びばかりが目立っていただけ、スコアをしっかりと作っていきける「ゼクシオ HYPER RD」は、やさしさのスコアリングボールである。

「『ゼクシオ HYPER RD』を打つと顕著ですが、スピンの安定するというのは、ゴルフにとって『やさしさ』そのもの。やさしいクラブを選択するのと同じ感覚で、やさしいボールを選ぶべき」と森山 鎌コーチはいう。「XXIO」には「XXIO」を選ぶほう、というキャッチフレーズの核心でもある。

「『ゼクシオ HYPER RD』は、さらにウェッジショットのスピンの安定する。この機能は上級者にとつての強みでもある。」

最後に...

絶対ゼツタイ、
ボールを簡単に飛ばせる
XXIOがサイキョーだから!

XXIO DREAM CUPは DUNLOP DREAM CUPに パワーアップ!



写真は2025年大会の参加プロたち。人気のダンロップスタッフプレーヤーたちとラウンドできる夢の1日が「DREAM CUP」だ。

トッププロと ラウンドできる 夢の参加権利を 獲得しよう!

2018年から開催されている
XXIO DREAM CUP、
プロとラウンドできる夢の時間をご提供します。
大好評の同イベントは2026年より
DUNLOP DREAM CUPに名称を変更して
よりパワーアップしたイベントへと成長します。
参加権利はこれまで同様、10月末まで
全国のゴルフ場で開催されている
オープンコンペ形式の地区予選に参加すること。
もちろん当選確率をアップさせるために
複数回の参加もOK。
夢の舞台への参加権利はゴルフを楽しんだ
あなただけが手にすることができるのです!

2026年 プロアマコンペ 概要

- 【スケジュール】
12月に関東・関西にて開催
- 【招待数】
各ゴルフ場48名合計96名(予定)
- 【応募資格】
各地区大会参加者全員
※複数参加で当選確率UP
- 【当選発表】
2026年11月中旬



地区大会
会場情報は
こちらから

